

おじいちゃんの手

福島県 会津若松市立謹教小学校三年 鈴木 愛渚

わたしのおじいちゃんの手は、とつてもしわくちゃで、黒くて、右手のまん中のゆびがと中からありません。でも、何でも作れるし、細し事をがんばるはたらきもの手です。そして、いつもあつたかい手です。

おじいちゃんは、山の畑で花を作っています。おばあちゃんといっしょに、朝の四時からトラックで花をとりに畑へ出かけます。妹と二人で、おじいちゃんの家にとまりにいった時、朝おきたら、妹とわたしの二人しかいなくて、びっくりしたことがありました。朝し事にでかけるよと前の日の夜に言われていたのを、ねむっている間にすっかりわすれていたのです。妹とおっかなびつくりするすばんをしていると、台所の方でとつぜんガタガタトントンという音がきこえてきたので、妹と二人でどろぼうかなと思って、声を出さないようにして、そつとのぞいてみると、おばあちゃんがいそいで帰ってきて朝ごはん作りをしていたのです。おばあちゃんと三人でわらってしまいました。いつもにこにこえ顔のおばあちゃんの手ぬぐいは、あせでびつしりです。おじいちゃんもとつてきた花のたばをさきょうこやへはこびます。Tシャツは朝つゆとあせでぬれて、草のにおいがします。二人でいっしょうけんめい花をたばねて、一日に三十ケースぐらいいしゅつかします。

お花は真つ白なかすみそうや、赤いヒベリカムなどを春から

秋にかけて作ります。冬は畑を休ませて、次へのじゅんびをずるそうです。おじいちゃんのゆびは、冬の雪かたしの時に、じよせつきのローターにひつかけてしまい、なくなつてしまったのです。でも、おじいちゃんは、そんなことにはへこたれませんでした。「花はとつてもかわいいもんだ。子どものように、手をかけて、心をこめてせわをした分正直にきれいな花をさかせてくれるんだよ。」と言つて、今年もじよせつきを動かして、ハウス作りのじゅんびをしていました。毎年新しい花に出会えて、楽しいからなのかなと思ひました。わたしたちをかわいがつてくれているように、お花もかわいがつてせわをした分手にしわもたくさんできたのだと思います。

おじいちゃんとおばあちゃんの育てた花はとつてもす直に、まっすぐぐに育つて、大きくてきれいな花をたくさんさかせるので、東京やにいがたの市場でもたくさん買つてもらえます。大きなじんががあつて、福島は原発の心ばいで、食べ物だけでなく、花までも買つてもらえるのが少なくなつた事もあつたけれど、がんばりやおじいちゃんの花は、今年もたくさんきれいな花をさかせました。

どんなことがあつてもまけないで、たくましく、きれいにさく花と、たくさんはたらいしてわがいはいばいできたおじいちゃんの手は、わたしのじまんです。いつもやさしく大切な事を教えてくれてありがとう。長生きしてね。